



平成20年度京都大学防災研究所共同研究「台風研究会」のご案内
「台風災害を防ぐ 一気象学・風工学・土木学・災害学の間に橋を架ける一」

台風は最も激しい気象擾乱であり、顕著な災害をもたらします。台風被害の低減のためには、台風の観測・予報精度の向上だけでなく、それと連動した避難誘導の的確な実施や、構造物の耐風・耐水性能の強化等が求められています。この期待に応えるには、理学や工学の枠を越えた学際的な「台風防災学」が必要となります。本研究集会は、諸学間に携わる研究者・技術者が知見を持ち寄り、議論を行うことで、台風防災学構築への一里塚とすることを目的としています。

研究代表者：

別所康太郎（気象庁気象研究所）

防災研担当者：

林 泰一（京都大学防災研究所流域災害研究センター）

竹見哲也（京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門）

主 催：京都大学防災研究所

共 催：日本風工学会

日 時：2008年12月17日（水）・18日（木）

場 所：京都大学生存圏研究所木質ホール
（JR 奈良線黄檗駅下車、徒歩約10分）

●講演ご希望の方は、2008年10月10日（金）までに、以下の例に従い、演題、発表者などを下記へご連絡ください。旅費の支給をご希望の方はその旨もお知らせください。

●参加のみご希望の方も同様に、2008年11月25日（火）までにお申し込みください。

なお、旅費支給は、講演者を優先いたします。

申し込み先：気象研究所 別所康太郎

e-mail：tymt2008@mri-jma.go.jp

●なお、報告書作成のため、講演者の方には後日4ページ程度の講演要旨の提出をお願いいたします。

参加票例（講演希望の場合）

講演者：竹見哲也（*）・別所康太郎
（発表者に*をつける）

講演タイトル：台風の構造について

講演希望時間帯：いつでも可（12月17日午後、12月18日午前、午後の講演の希望を記入）

*講演プログラム作成上、必ずしもご希望に沿えない可能性がありますので、ご了承ください。

懇親会：参加する（懇親会は12月17日の講演後に予定しています。）

発表者所属機関等：京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門

郵便番号：611-0011

住所：宇治市五ヶ庄

E-mail：typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp

以下、旅費希望の方（公務員・国立大学法人教職員の場合）

職名：准教授

旅行区間：東京一京都

旅行期間：（平成20年12月17-18日のようにご希望をお書きください。）

以下、旅費希望の方（私立大学・民間等の研究者・大学院生の場合）

職名：研究員

自宅郵便番号：154-0013

自宅住所：東京都世田谷区駒沢公園1-1

旅行区間：東京一京都

旅行期間：（平成20年12月17-18日のようにご希望をお書きください。）

参加票例（参加のみの場合）

氏名：竹見哲也

懇親会：参加（あるいは、参加しない）

所属機関学部学科名、または部課名：京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門

所属機関郵便番号：611-0011

所属機関住所：宇治市 五ヶ庄

E-mail：typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp